

「労働安全衛生大会」開催

ACTIVE KUMIAI

山梨県ビルメンテナンス協同組合（北川湊溥理事長）では一般社団法人山梨県ビルメンテナンス協会（小林脩一会長）と合同で1月28日（水）、甲府市の岡島ローヤル会館において平成26年度の「労働安全衛生大会」を開催した。

この大会は、組合員等の労働衛生に関する意識を高め、職場における自主的労働衛生管理活動を通じた従業員等の健康確保を目的に、毎年この時期に開催している。

今年の大会では、最初に、山梨労働局の中井健康安全課長から「労働災害の防止」をテーマに、平成25～26年の県内の労災事故の件数と県内の昨年の労災死亡事例について具体的な説明があり、続いて、第3次産業における労働災害防止策について説明が行われた。

引き続き「企業におけるメンタルヘルス対応」と題し、山梨産業保険総合支援センターのメンタルヘルス対策促進員である長田暢子さんより「わが国の自殺者は、平成24年までは3万人を超えていたが、『自殺対策基本法』の施行にともない企業の心の健康づくりの『事業所内産業保険スタッフによるケア』『セルフケア』等の取組が行われるようになった。最近では3万人を切るまで改善されており、メンタルヘルス対策は、企業内の相談しやすい雰囲気作りが最も有効な手段である。」というメンタルヘルスの基礎知識や企業における対策について講演があった。

参加者からは、「日ごろから業務作業上の安全については意識してきたが、あらためて日々の安全管理の重要性に気づかされ、より安全意識が高められた。また、身体、精神両面の健康を維持することで職場環境の改善が図られ、会社の生産性を向上させることができることが理解でき、非常に有意義だった。」という声が多く聞かれた。



講師の長田暢子さん